

# 国 語【中学校第3学年】

## 正答の状況

年 度		令和元年度	平成30年度	
種 別		国語	国語A	国語B
平均 正答数	県	7.0問／10問	24.0問／32問	5.3問／9問
	全国	7.3問／10問	24.3問／32問	5.5問／9問
平均 正答率	県	70%	75%	58%
	全国	72.8%	76.1%	61.2%

## 今回の調査結果から明らかになった成果と課題

成果1	文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをもつこと
成果2	伝えたい事柄について、根拠を明確にして書くこと
課題1	文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉えること
課題2	相手に分かりやすく伝わる表現について理解すること

## 成果が見られた問題の概要

○成果1 設問番号 1三

### 【設問の概要】

「みんなの短歌」に掲載されている短歌の中から一首を選び、感じたことや考えたことを書くことができるか。

【平均正答率 (%)】				
1三	本県	全国	差	自校
	91	91	0	

【学習指導要領における領域・内容】

〔第1学年〕C 読むこと オ

本問題は、文章（短歌）に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをもつことができるかどうかをみる問題である。文学的な文章を読む際には、書き手のものの見方や考え方に共感したり、疑問をもったり、批判したりすることなどを通して、新たなものの見方や考え方を発見したり、多角的・多面的な視点から物事について考えられるようになったりするなど、読み手としてのものの見方や考え方を広げることが大切である。そのために、自己や他者との交流を図る対話的な学習が今後も展開される必要がある。

○成果2 設問番号 3二

### 【設問の概要】

広報誌の一部にある情報を用いて、意見文の下書きに「魅力」の具体例を書くことができるか。

【平均正答率 (%)】				
3二	本県	全国	差	自校
	79	78	+1	

【学習指導要領における領域・内容】

〔第1学年〕B 書くこと ウ

本問題は、目的や意図に応じて、グラフや表を基に、自分の考えを書くことができるかどうかをみる問題である。根拠として用いる情報をグラフの中から取り出して、自分の考えを読み手に分かりやすいように書くことのできた生徒の割合が全国を上回っていた。

### 《コラム》

平成31年4月に実施された全国学力・学習状況調査・小学校国語における漢字を書く問題「関心をもつ」については、3か月前の同年1月に実施された鹿児島学習定着度調査・小学校5年生・国語の調査において、同一の問題が出題されていた。全国学力・学習状況調査の結果（4月）では、全国の正答率よりも24ポイント高い結果となった。しかしながら、鹿児島学習定着度調査の結果（1月）の正答率と比較すると7ポイント程度しか上昇していないという結果であった。

県教委からは、鹿児島学習定着度調査実施後は、残りの2月、3月の期間内で、できなかった問題を定着させるまで指導するよう、各学校に依頼をしていたが、学校側で十分な対応がとられていなかったことがうかがえる。今回のことを反省し、次回の定着度調査においては、実施後の対応の徹底をお願いしたい。

